

各位

九州史学会
委員長 岡崎 敦

平成24年度九州史学会大会の御案内

拝啓 皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、来る12月8日（土）、9日（日）の2日間にわたり、平成24年度九州史学会大会を下記の要領にて開催致すはこびとなりました。ご多忙の折りとは存じますが、本学会の一層の発展のため、ふるってご参会下さいますようご案内申し上げます。

敬具

九州史学会大会次第

於 九州大学 箱崎文系キャンパス

12月8日（土） シンポジウム

法文系講義棟101番教室（午後1時30分より）

「戦跡からみたモンゴル襲来 —東アジアから鷹島へ—」

モンゴルの襄陽包圍戦とその軍事拠点

九州大学 船田善之

韓国における最近の三別抄遺跡の調査と研究

公州大学 尹龍赫

甲戌・辛巳の役後における高麗の対日警戒体制とその拠点

九州大学 森平雅彦

弘安の役と北部九州

九州大学 佐伯弘次

鷹島海底遺跡の発掘調査

琉球大学 池田栄史

懇親会 九州大学生協理農食堂（箱崎理系キャンパス内）（午後6時より） 会費3,000円（学生1,000円）

12月9日（日） 研究発表

（午前9時より）

＜日本史部会＞（法文系講義棟102番教室）＜午前9時開始＞

近世日朝関係における東向寺制度の意義

九州大学 藤本健太郎

日宋貿易における長承元年と翌二年 一大宰府、宋客殺害・唐坊焼打事件と、つづく長門国来着・肥前国神崎庄来着について

九州大学 服部英雄

均等名荘園の開発と支配 —天満宮安楽寺領筑後国水田荘を素材として—

九州大学 貴田潔

今川了俊の九州下向と菊池氏

九州大学 山本隆一郎

帯方郡使梯儻の報告書復元から考える方位と距離

佐賀女子短期大学 西健一郎

伝聖徳太子撰三経義疏の真偽問題

渡邊正氣

徳川家達とワシントン会議

九州大学 原口大輔

清末中国女子教育の制度化における日本女子教育情報の役割 —呉汝綸の日本視察をめぐって—

九州大学 董秋艶

＜東洋史部会＞（法文系講義棟204番教室）＜午前9時開始＞

古代東アジアにおける塵尾の伝播について

九州大学 黒木修平

唐代の賍贖制度について —唐喪葬令を中心として—

九州大学 劉可維

唐代和蕃公主考 —降嫁に付随して移動したヒトとモノ—

九州大学 藤野月子

明末士大夫の天主教受容について —徐光啓の交友ネットワークを中心に—

九州大学 史習隼

日本に伝わった鄭經関連の情報 —『華夷変態』を中心に—

九州大学 郭陽

現代中国の民族問題と中国史研究について —「少数民族」の理解をめぐって—

九州大学 川本芳昭

東晋南朝の儀注改定プロセス

東北大学 三田辰彦

唐宋時代の肉食における性差

大阪市立大学 塩卓悟

清代康熙朝の奏摺政治について

九州産業大学 内田直文

漢唐間の礼制・服制史における北朝の位置

埼玉大学 小林聡

<朝鮮学会> (法文系講義棟202番教室) <午前9時30分開始>

朝鮮後期軍役の面里代定
 近世草梁倭館における朝日間の人的交流 —「辺門節目」(1738) からみたその諸相—
 朝鮮近代戸籍法及び家族法の変遷—第3次朝鮮民事令改正を中心に—
 Song China's Role in Shaping Late Koryŏ Literature: An Analytical Survey of the Tongmunsŏn
シンポジウム「日本伝存の朝鮮文化財をめぐる研究の現在位置」(午後1時30分より)
 趣旨説明
 在日本の朝鮮製石造物の種類と特徴
 桜園寺内文庫所在朝鮮古文書の概要と特徴
 対馬宗家文書伝来の朝鮮文化財について
 旧宮内省図書寮の朝鮮本収集と日韓の「文化財」問題

九州大学 高村源太郎
 九州大学 金 振 識
 九州大学 田中美彩都
 ペンシルバニア州立大学 WEI, Xin
 佐賀大学 永島広紀
 日本学術振興会特別研究員 川西裕也
 東京大学 六反田 豊
 対馬歴史民俗資料館 山口華代
 佐賀大学 永島広紀

<イスラム文明学会> (法文系講義棟203番教室) <午前10時開始>

ワッターズ朝期のジハードについて再検討する
 クスタールとジャフバズ —アッバース朝期行政機構の展開における一局面—
 預言者の相続人 —10~13世紀のホラーサーン系「ハディースの徒」の理論と実践—
特別企画「中東湾岸諸国研究のフロンティア」(午後1時30分より)
 民主化過程における司法の役割 —クウェート国民議会解散をめぐる—
 近代国家の形成 —アラブ首長国連邦の場合—
 外部介入がもたらした民主化 —イラク戦争と残存する権威主義体制の遺産—
 アラブの春以降のサウディアラビアの諸改革

京都大学 篠田知暁
 日本学術振興会特別研究員 亀谷 学
 日本国際問題研究所 森山央朗
 九州大学 石黒大岳
 早稲田大学 佐藤尚平
 九州大学 山尾大覚
 神戸大学 中村 覚

<西洋史学会> (法文系講義棟301番教室) <午前10時開始>

11世紀クリュニー修道院における文書の戦略的利用 —カルチュレールA, Bを中心に—
 「レコンキスタ」期における君主権力と貴族の関係の変容 —12世紀バルセロナ伯領の事例を中心に—
 市町村長と地方権力 —ナポレオン体制期の地方統治構造—
 プトレマイオス朝エジプト在地社会の再編 —紛争処理にみる社会的紐帯—
 18世紀シュレージエンにおける対カトリック政策 —1774年のギムナジウム規定を中心に—
 ヤーコブ・グリムとドイツ国民国家形成 —初期の思想を中心に—
 ドイツ系「再移住者」と戦後ドイツ —フリッツ・エーベルハルトの事例を手がかりに—

九州大学 法花津 晃
 九州大学 阿部俊大
 広島大学 藤原翔太
 大阪大学 石田真衣
 神戸大学 松岡拓哉
 福岡大学 玉利尚子
 京都大学 鈴木健雄

<考古学会> (法文系講義棟101番教室) <午前9時30分開始>

打製石斧類からみた北部九州縄文時代後・晩期の生業様式
 鬼界アカホヤ噴火が狩猟採集社会に与えた影響
 弥生時代開始期の壺形土器をめぐる諸問題
 タタキ技法はどこまでさかのぼるか —弥生早前期の甕を中心に—
 エジプト初期国家形成期の大型穀物調理施設について
 細形銅矛の変遷と地域性
 弥生時代後期における玉類の流通 —北部九州地域の玉作の検討から—
 古墳時代抜歯風習の比較研究 —関東地方を中心として—
 「吉備」地域における陶棺の採用過程とその論理
 穴生古屋敷(あのおふるやしき) 遺跡の中世須恵器(大日焼)

福岡市経済観光文化局 板倉有 大
 都城市教育委員会 栗畑光 博
 岡山大学 端野晋 平
 福岡大学 武末純 一
 近畿大学 高宮いづみ
 九州大学 藤元正 太
 九州大学 谷澤垂 里
 九州大学 舟橋京 子
 橿原考古学研究所 絹島 步
 北九州市芸術文化振興財団
 埋蔵文化財調査室 梅崎 恵 司

当日は、入口の各部会受付にて、参加費1,500円(2日間)をお支払いください。

なお、本大会出席のため、所属機関への出張依頼を必要とされる方は、下記事務局までご連絡下さい。

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1 九州大学文学部九州史学会事務局(考古学研究室) 電話 092-642-2375

E-mail: shigakkai@lit.kyushu-u.ac.jp; http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~shigakkai/